

令和4年度 高体連報告書
体操専門部（森 啓高）

令和3年度の全国高等学校選抜体操競技大会（熊本市総合体育館）にて行われ、女子は鳥栖高校から4名がエントリーした。重松が個人総合27位、秋山が43位。小林、曾根崎は棄権した。

令和4年度、県総体男子団体は鳥栖工業高校がA,B2チームに分かれて争われ鳥栖工業高校Aチームが205.000点で優勝した。個人では鳥栖工業高校の堂前が2年生ながら安定した演技で優勝、川端（佐賀北高校）、川崎（鳥栖工業高校）と続いた。女子は鳥栖高等学校1チームのみ出場し150.000点で優勝した。個人総合は3年生の曾根崎が優勝した。

沖縄県で開催された全九州高校総体では男子は団体総合2位、2年生の堂前が個人総合3位、種目別鉄棒優勝、跳馬2位、ゆか3位と活躍。また、同じく鳥栖工業2年の有田も種目別つり輪で優勝した。女子は鳥栖高校が団体優勝、個人総合でも曾根崎が他を寄せ付けない演技で個人総合・全種目制覇し完全優勝を果たした。

九州ブロック大会兼全九州体操競技選手権大会（熊本市）で行われ男子は団体総合2位、女子は団体優勝することができた。

8月に行われた全国高校総体（愛媛県総合運動公園体育館）では、男子団体は鳥栖工業高校が出場し、7年ぶりに決勝にコマを進めベスト16入りを果たした。女子は鳥栖高校がエントリーし、団体7位と大躍進であった。個人で昨年度2位だった曾根崎が総合7位、種目別跳馬3位、平均台5位、ゆか6位入賞と活躍した。

9月に行われた県新人戦で男子団体は鳥栖工業高校が215.000点で優勝した。個人では堂前（鳥栖工業高校）がノーミスで全種目制覇し優勝、有田（鳥栖工業高校）と続き、3位には1年生の田村（鳥栖工業高校）が大躍進した。女子は団体で鳥栖高校が出場し140.850で優勝。個人では2年生の井口が初優勝で今村、齊藤の順であった。

本年度は、未だに新型コロナウイルスは終息したとは言えないものの、感染対策を充分に行いながら徐々に大会も開催されてきた。一日も早く新型コロナウイルスが終息することを願いたい。

今後は3月に全国高等学校選抜体操競技大会（三重県）が行われる予定である。

以上、令和4年度の報告とさせていただきます。次年度も本年に引き続き精進していきたいと考えておりますので皆様方のご協力、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。